

週間市場レポート (2021年4月5日~4月9日)

1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/4/2	先週末 2021/4/9	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		29,854.00	29,768.06	▲ 0.29 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,971.62	1,959.47	▲ 0.62 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		33,153.21	33,800.60	1.95 ↑
S & P500種指数		4,019.87	4,128.80	2.71 ↑
ナスダック総合指数		13,480.11	13,900.19	3.12 ↑
ユーロ・ストックス50指数		3,945.96	3,978.84	0.83 ↑
S & P/ASX300指数		6,814.22	6,986.04	2.52 ↑
上海総合指数		3,484.39	3,450.68	▲ 0.97 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,069.81	1,063.64	▲ 0.58 ↓
東証REIT指数		2,004.63	2,056.15	2.57 ↑
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		782.20	783.84	0.21 ↑
ASX300 REIT 指数		1,422.20	1,463.90	2.93 ↑
グローバルREIT (除く日本)*		186.26	187.42	0.62 ↑
日本10年国債 (%)		0.126	0.110	▲ 0.016 ↓
米国10年国債 (%)		1.722	1.659	▲ 0.063 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.328	▲ 0.303	0.025 ↑
英国10年国債 (%)		0.795	0.774	▲ 0.021 ↓
ドル/円		110.69	109.67	▲ 0.92 ↓
ユーロ/円		130.17	130.51	0.26 ↑
英ポンド/円		153.16	150.32	▲ 1.85 ↓
豪ドル/円		84.17	83.56	▲ 0.72 ↓
フィラデルフィア半導体指数		3,240.18	3,294.53	1.68 ↑
WTI原油先物 (ドル)		61.45	59.32	▲ 3.47 ↓
CRB指数		186.70	186.74	0.02 ↑

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。前週末に公表された堅調な米経済指標を受けた景気の早期回復期待から、週初は上昇しました。来週以降に公表予定の国内主要企業の決算を見極めようと様子見ムードから小動きとなる中、高値警戒感による利益確定売りも出やすく、週末まで上値の重い展開となりました。なお、9日の夕刻に政府が『まん延防止等重点措置』の適用対象を東京などの3都府県に広める見通しとなったものの、株式市場への影響は限定的でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース *1 ▲はマイナスを表します。 *2 イースター (復活祭) 休暇のため海外市場は4月1日のデータ

≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。3月の米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録要旨で、量的金融緩和の段階的縮小には時間を要するとの見解が示されたことから、米国での金融緩和の長期化が意識され米長期金利が低下した流れを受け、国内金利も低下しました（価格は上昇）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。堅調な米経済指標を受け週初は大きく上昇しました。その後も、FOMCの議事録要旨や、軟調な経済指標を受け長期金利が低下したことから、ハイテク株を中心に買われ上昇し、週末のNYダウは史上最高値を更新しました。



出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。米新規失業保険申請件数が市場予想を上回り、労働市場の回復が停滞するとの見方が広がったことなどから、高値圏で推移していた米長期金利が低下し、週を通じて、日米金利差の縮小を意識した円買い米ドル売りが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の日本株式市場は、高値圏で推移していたこともあり利益確定売りも出やすく上値の重い展開となりました。一方、米国株式市場は長期金利の低下を受け上昇し、週末には史上最高値を更新しました。

バイデン大統領は、3月末に公表した大規模なインフラ投資の財源に、法人税増税による約2.5兆米ドルの税金を充てることを検討しています。巨額の計画に反対する声も多く、今後は計画の実現に向け議会の承認を得られるかが注目されます。

今月後半より国内の主要企業の決算発表が相次ぐため、今週の国内株式市場は様子見ムードから週を通じて動きにくい展開を予想します。一方、週中に公表される米大手銀行の決算で好業績が確認できれば、日米両市場ともに大きく上昇する可能性もありそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>